

(4)年 活動名 総合的な学習 「身近な川 平瀬川たんけんたい」

実践者 上作延小学校 田部 悦子

1.平成18年11月1日(9/20時間)

2.ねらい

自分の課題にあった資料を見つけることができる。

3.活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支援
<p>上作延町会長さんから昔の平瀬川の様子を聞いたり、実際に平瀬川に行ってみたり、放送番組「川」を視聴し、平瀬川に対する自分の思いをもつ。そして、それぞれの課題を見つける。(前時までの活動 8時間)</p> <p>1. 課題を確認し、今日のめあてを知る。</p>	<p>昔と今を比べたり、他の川と平瀬川を比べたりしながら、平瀬川に対して思いがもてるようにする。(課題設定への掘り起こし)</p> <p>子どもがもちそうな課題にあった図書やパンフレット・ホームページなどを探しておく。(司書教諭・図書コーディネーター・図書ボランティアの方々に協力してもらう。)</p>
<p>自分たちの課題に合った資料を見つけよう。</p>	
<p>2. 司書教諭から調べる場やお助けカード(情報カード)の使い方を聞く。</p> <p>3. 自分たちの課題について調べる。 ・自分たちの課題にあった資料を探す。 ・自分たちの課題の情報が載っているところに付箋を貼っておく。 ・情報をメモする。(今回は詳しく写すのではなく、資料名と簡単な内容だけにする。)</p> <p>4. 今日の学習の振り返りをする。</p>	<p>場やお助けカードの説明をし、困った時には、いつでも相談に応じる。</p> <p>一つの資料からだけではなく、いろいろな資料を使って調べることができるように声をかける。 子どもに応じて、お助けカードを提示したり、資料についてのレファレンスを行ったりする。 資料を上手に調べて調べることができたグループを紹介し、次の時間に生かせるようにする。</p>

4. この取り組みによって、子どもにどのような変化(成果)がありましたか。

今回は、図書に限らず、パンフレットやインターネットも活用できるようにした。また、図書も学校図書館にあるものでは十分調べ学習ができないので、市立図書館から70冊あまり団体貸し出しを行い調べ学習が充実したものになるようにした。司書教諭・図書コーディネーター・図書ボランティアの方々の協力があった。

この取り組みにより、自分にあった課題を様々な資料から収集することが大切だということ子どもたちも学ぶことができた。そして多くの資料から情報収集したことにより、理解がより深まった。その後の調べ学習にも生かされた。